

宿屋の亭主 かんじょうしてごらん、そうなるから。

宿屋のかみさん (かんじょうしてみて自分に) ほんとうだ。——(亭主に) ほんとうにそうなりま  
すね。

宿屋の亭主 あの時は、おれたちは、ずいぶん貧乏びんぼうだった。——それを思うと、このごろは、う  
そのように金持になった。

宿屋のかみさん ほんとうにねえ。

宿屋の亭主 だが、まだいけない。——こんなことじゃアまだいけない。——もっともとおれた  
ちはもうけなくちゃアいけない。

宿屋のかみさん そうですわねえ。

宿屋の亭主 まったく、だが、宿屋って商売はいい商売だ。——おまえ、そう思わないか？

宿屋のかみさん そう思います。——ほんとうにいい商売です。——けど、この四、五日、ちっと

もお客さまが来ないじゃアありませんか？

宿屋の亭主 たまには来ないこともあるさ。——来なくたってだいじょうぶだ。

宿屋のかみさん どうして来なくてだいじょうぶです？

宿屋の亭主 今度お客が来たら、そのお客から、ふたり分でも、三人分でも、よけいお金をとって  
やればいいじゃアないか。(笑う)——まったく宿屋って商売はこたえられない商売だよ。

宿屋のかみさん そうできればいいけれど。……

戸をたたく音きこえる。

宿屋の亭主 おまち。——だれか来たようだ。

宿屋のかみさん そうですか？

宿屋の亭主 あけてごらん。

宿屋のかみさん、入口の戸をあける。——ブウツ、外に立っている。

ブウツ こんばんは。——ひと晩とめていただけないでしょうか？

宿屋の亭主 いらっしやいませ。——さア、どうぞ……(たちあがる)

ブウツ かまいせまんか、はいっても？

宿屋の亭主 ええええどうぞ……

ブウツ そうですか、ありがとうございます。